

デジタルトランスフォーメーション（DX）時代に対応した 著作権制度・政策の在り方について（諮問概要）

- 令和3年7月19日、「デジタルトランスフォーメーション（DX）時代に対応した著作権制度・政策の在り方について」を文化審議会に諮問。

諮問理由

- ✓ DXの推進は、文化芸術における創作・流通・利用にも大きな影響。
- ✓ DX時代における社会・市場の変化やテクノロジーの進展に柔軟に対応した「コンテンツクリエーションサイクル」の実現とその効用を最大化し、文化芸術をはじめとした我が国の発展を下支えするものとして、著作権制度・政策を位置付けていくことが必要。

審議事項

「権利保護・適切な対価還元」と「利用円滑化」の両立を基本としつつ、以下の事項を御審議願いたい。

1. DX時代に対応したコンテンツの利用円滑化とそれに伴う適切な対価還元方策について

- 過去のコンテンツ、一般ユーザーが創作するコンテンツ、権利者不明著作物等の膨大かつ多種多様なコンテンツについて、いわゆる拡大集中許諾制度等を基に、様々な利用場面を想定した、簡素で一元的な権利処理方策
- デジタル化・ネットワーク化に対応した取組が公的機関や企業等で推進されるに当たり、これらに対応する基盤としての著作権制度・政策に関する課題と対応策

2. DX時代に対応したコンテンツの権利保護、適切な対価還元方策について

- 今後の著作権侵害に対する実効的救済及び我が国のコンテンツの海外展開方策
- デジタルプラットフォームサービスに係るいわゆるバリューギャップや契約の在り方についての課題や実態等を踏まえた対応
- DX時代に対応した著作権制度・政策の普及啓発・教育方策